



高齢者の運転免許更新について



立川眼科 立川貴寿

近年、高齢ドライバーの事故が増えています。平均寿命が延びるにつれドライバーも当然ながら高齢化しますが、歳を取ると判断力や反応が衰えて若い頃の様には運転が難しくなってきます。しかし地方で暮らしていると、どこへ行くにも車がなくては生活が出来ないのも事実です。見え方の面から運転免許の更新に関わる立場の眼科医として、是非知っておいて頂きたい事を綴ります。

免許更新に必要な視力は、普通免許の場合は(矯正で)片眼各0.3以上、両眼で0.7以上です。片眼が0.3未満の場合は、視力良好な眼の水平視野が150度以上ある事が条件です。大型免許や二種免許では(同)片眼各0.5以上、両眼で0.8以上で、深視力(立体覚)検査は片眼だけが悪くても困難になります。原付免許や小型特殊免許の場合は(同)両眼で0.5以上が条件です。免許更新の際に70才以上は高齢者講習が義務付けられ、75才以上では認知症検査が加わります。免許の有効期間は70才までは5年、71才は4年、72才以上は3年です。

お願いしたいのはここからです。免許更新の半年前には高齢者講習の通知が届くのですが、更新期限の直前になって(特に誕生日を過ぎてから)「更新に行ったら通らなかった」と、初めて受診される方が少なくありません。眼鏡で矯正出来る場合は良いのですが、白内障が進行している場合は手術が必要になります。白内障手術は短時間の日帰り手術ですが、術前検査が必要ですぐには出来ず手術までは数ヶ月掛かり、更新に間に合わない方もおられます。そのため前回の更新時に視力がギリギリだった方や、見え方に不安のある方は案内が届き次第、時間に余



裕のあるうちに早めに眼科を受診して頂きたいと思います。

眼の病気は白内障に限りません。網膜疾患や緑内障等で当院では治療が難しい病気の場合には、大学病院等での治療や手術が必要です。その場合には紹介の上で治療を急がないと、更新期限に間に合わないため早期受診が必須です。

「視力0.7」は、道路標識の文字を問題なく読むための条件で、実際の運転時は周囲の明るさや速度等の環境が変わるため、検査時より視力は低下します(動体視力)。また視野が狭い場合は、歩行者の飛び出しや信号の見落としが問題になります。自動車を運転する(しなければならない)事は、同時に周囲に危険を及ぼす恐れもあります。運転する際に、自分も家族も周囲の歩行者等も安心出来る様に、是非定期的に眼科を受診して頂く様お願いしたいと思います。

立川眼科 診療日・診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:00~18:00	●	手術	●	休診	●	●

※土曜午後の診察は17時で終了させていただきます。

TEL: 097-586-3719 E-mail: ganka@tazeye.jp

昭和レトロクイズ答え

【1】 答え①
毎週日曜日の12時45分から30分間、当代の人気歌手が顔を揃える音楽番組が「ロッテ歌のアルバム」NHKの紅白歌合戦と同様、歌手にとってはこの番組に出てヒット曲を歌うことが目標となった。番組は21年続き、うち19年間は玉置宏が司会し「一週間のご無沙汰でした…」は流行語になった。

【2】 答え①
高度経済成長の弊害として起こった現象の一つが「三ちゃん農業」だ。それまでは農業に従事していた30代40代の働き盛りの男性が、収入のいい都市部での仕事につくために出稼ぎに行ったり、平日は会社に勤めて、休日だけ農業をするということが多くなった。その結果、農村地帯での主な働き手は、残されたじいちゃん、ばあちゃん、そして母ちゃん(嫁さん)となってしまったのだ。国会でその言葉が使われて報道され、昭和38年の流行語となった。



由布市 介護支援専門員協会だより

令和4年11月作成 第12号

令和4年度 第2回由布市介護支援専門員協会全体研修会開催

近視、老眼、乱視…目は病気とはいええないものの生活に影響する症状が多くあります。特に高齢者は、見えによって生活不活発になり、転倒などの事故につながってしまいます。目の専門家に日頃悩んでいることや、気になっていることをお聞きして、明るくスッキリとした毎を送りませんか? ということで今回は

**「立川眼科・立川貴寿医師に眼について学ぼう」をテーマに
令和4年10月13日(木曜日) 14:00~16:00 ZOOM 利用でのウェブ開催。**

健寿荘集合13名 挾間地区8名 庄内地区8名 湯布院地区4名 合計33名の参加にて開催。講師を依頼したところ、快く引き受けてくださり、眼のことわざから構造、さまざまな眼の病気について、質問への回答も含めて2時間の長丁場にもかかわらず大変分かりやすく説明をして頂き、まさに「目からうろこが落ちる」記憶に残る講演となりました。最後に先生より高齢者の方々に気を付けて欲しい事を、皆さんへ伝えて欲しいとの要望を頂いております。我々の責務であります。教えて頂いた事をこれからの業務に活かしていきましょう。立川先生ありがとうございました。皆様お疲れさまでした。





3年後に60歳以上が3億人



中国で日本式の入浴介護が人気です。中国には浴槽のない家が多く、入浴介護が一般的ではありません。全国的な介護保険制度はなく介護サービスは富裕層に限られているのが現状です。その背景には、「子供が親の世話をするのが当然」という伝統的な習わしがあったためです。2016年に「一人っ子政策」を撤廃しましたが少子高齢化に歯止めがかかっていません。2021年、中国の出生数は建国以来最少の1062万人となりました。価値観の多様化により、子供はいらないと考える人も増えています。3人目の子供に補助金を出さず政策を作るもうまくいっていません。

歴史人口学者は「全世界に影響を及ぼしかねない

い。世界の工業製品の4分の1以上を生産している中国の人口減少は世界の産業の崩壊を意味する」と危機感を訴えています。

14億人の少子高齢化問題は中国だけの問題に留まらず、今後世界中が向き合わなければならない課題になりそうです。



事業所紹介

あいな訪問看護ステーション

管理者の工藤一華様より、事業所についてお伺いしました。

令和3年11月1日に事業を開始、看護師は5名体制で、サービス実施地域は、由布市、大分市、別府市です。湯平や阿蘇野まで支援に行っていた事もあ

るそうです！
健康管理や相談、服薬管理、医療機器の管理、ターミナルケア(終末期)などのサービスを実施。24時間・365日対応なので、ターミナルケアの方でも、安心してサービスを受けられます。又、新型コロナウイルス感染症に罹患した利用者様の対応もしており、防護具を着用し、実際に支援へ入ったそうです！

要支援の方や、週1回利用の方、サービス提供時間30分の健康管理の支援にも入っていますので、訪問看護の利用を検討している方がいましたら、お気軽にご相談ください！とのことでした。

●あいな訪問看護ステーションの特色

医療の専門的な知識を持った看護師が、その人の生活の場へ訪問し、医療ケアや療養生活でのアドバイスを行います。住み慣れた地域やご家族の中で、その人らしくいつまでも笑顔で過ごすことができるよう皆さんと協力しチームとなり、生活のお手伝いをさせていただくことが私たちのサービスです。今を生きる皆様のお力になれるよう、常に笑顔と優しい気持ちを持って生活の場に訪問させていただいております。笑顔とパワーをお届けします！



あいな訪問看護ステーション

由布市挾間町挾間486番地5 コーポ長田103
TEL:097-535-8211 FAX:097-535-7529



湯布院町

由布市のおすすめコーナー



「Mamiy」 〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上 2989-6
由布院駅出口から徒歩約8分 湯布院児童中央公園横

お店は「Mamiy」

ご無沙汰しております！土居です！本格的に寒さが強まってきており、ステイホームを楽しむには丁度良いかもしれませんね。美味しい食べ物をテイクアウトして自宅でワールドカップを楽しむのもよし。甘い食べ物を片手にゆっくり過ごすのも楽しみのひとつですよね。今回はクレープの美味しいお店をご紹介します！

場所

由布市湯布院町の有名どころ、湯の坪街道の少し外れたところにある美味しいクレープを食べることができるお店があります。そのお店の名は、「Mamiy」さんです！



「Mamiy」



シュガーバター



イチゴクレープ 左
イチゴワッフルパフェ 右

早速取材に行かせて頂き、「カスタード生クリーム」のクレープを注文しちゃいました！一言で言うと「クレープの中のクリームが絶妙にクレープにマッチして、カスタードもクレープに合い、何個でも食べられる最高のクレープです!!」一言じゃなくなりましたね(笑)けど、それだけ美味しいクレープで御座います!!
季節限定メニューがありますが12月からは「イチゴクレープ」「イチゴワッフルパフェ」が販売されるとのことです。

そして上の写真ですが、大人気メニューの「シュガーバター」です。ホイップとフルーツを乗せて食べるのもよし(料金は¥350)。また、お好みのソースがけは無料となっており、人気がある訳もわかります！お写真には載せておりませんが、季節限定メニューとして12月から「マロンシフォンケーキ」も販売されるとの事で、楽しみが増えますね！是非、皆様も立ち寄ってみてください！

「Mamiy」さんのInstagramやホームページもありまして、美味しそうなクレープの写真やメニュー表も確認することができますので是非ともご覧になられて下さい！画像等を見たら、すぐ食べたくなりますよ！

昭和レトロクイズ

【1】「一週間のご無沙汰でした……」という玉置宏の挨拶で始まる昭和33年開始の歌番組は？

- ①「ロッセ歌のアルバム」
- ②「ミュージックフェア」
- ③「夜のヒットスタジオ」
- ④「演歌の殿堂」

【2】昭和38年の流行語になった農家の働き手のことをいう「三ちゃん農業」とは「じいちゃん」「ばあちゃん」とだれ？

- ①母ちゃん
- ②父ちゃん
- ③兄ちゃん
- ④姉ちゃん